

福島県緊急水災害対策プロジェクトの 取組状況について

令和7年1月17日
福島県



福島県緊急水災害対策プロジェクト

令和元年東日本台風等による災害を踏まえ、頻発化・激甚化する水災害への対応として、総合的な防災・減災対策の強化を目的に、令和2～6年度までに県が集中的に推進する取組

【ハード対策】

1 改良復旧事業及び災害復旧事業の推進

- 令和元年東日本台風による被災箇所の速やかな復旧と改良復旧事業を速やかに実施します。

2 河川の河道掘削及び伐木の推進

- 河川の河道掘削及び伐木を速やかに実施します。

3 河川改修及び堤防強化の推進

- 河川改修及び堤防強化を速やかに実施します。

4 土砂災害対策の推進

- 砂防・地すべり・急傾斜事業を速やかに実施します。

【ソフト対策】

5 危機管理型水位計の設置拡大

- 危機管理型水位計の新規設置を進めます。

6 河川監視カメラの設置拡大

- 河川監視カメラの新規設置を進めます。

7 洪水浸水想定区域の公表の前倒し・拡大

- 水位周知河川及び洪水予報河川について、想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域の公表の前倒しと拡大を図ります。

8 福島県河川流域総合情報システムのサーバー強化

- アクセス集中時にも遅延無く表示ができるよう、システムを見直します。

8-2 福島県土砂災害情報システムの改良

- 土砂災害に関する情報をよりわかりやすく提供するため、システムを改良します。

9 ダムにおける事前放流等に向けた体制構築

- ダムにおいて事前放流等が実施できるよう、体制の構築を図ります。

10 土砂災害警戒区域等の指定の推進

- 住民の早期避難行動に繋がるよう、区域指定を推進します。

福島県緊急水災害対策プロジェクトの効果

福島県緊急水災害対策プロジェクトの取組により、以下の効果が得られました。

予算規模（令和2～6年度合計）：約2,950億円

【ハード対策の効果】 ※令和6年度末の見込み ※（）内の番号は当該プロジェクトにおける通し番号

改良復旧事業及び災害復旧事業の実施（1）

- ・災害復旧事業 **全1,411箇所**の完了
- ・改良復旧事業 全8河川のうち**6河川**の完了

河川改修及び堤防強化の実施（3）

- ・緊急的な改修 **全78河川**の完了
- ・一定区間の改修 全7河川のうち**5河川**の完了

国土強靱化により加速

浸水被害が解消した家屋数（1・3）

総合計画目標400戸→**2,813戸**

国土強靱化により加速

河道内に堆積した土砂を撤去し河川の氾濫の危険性が低下した地区（2）

当初計画515箇所→**1,077箇所**（人家が密集する地区に加え、点在する地区に拡大し実施）

国土強靱化により加速

堤防の強化により堤防決壊の恐れが低下した地区（3）

当初計画531箇所→**538箇所**（人家が密集する地区に加え、点在する地区にも着手）

国土強靱化により加速

土砂災害から保全された家屋数（4）

・総合計画目標608戸→**643戸**

国土強靱化により加速

【ソフト対策の効果】 ※令和6年度末の見込み ※（）内の番号は当該プロジェクトにおける通し番号

危機管理型水位計・河川監視カメラ（5・6）

- ・氾濫が発生した場合のリスクが高い箇所への設置
- ・水位計：当初計画324箇所→市町村要望を受け**536箇所**に増設
- ・カメラ：当初計画37箇所→市町村要望を受け**287箇所**に増設

浸水想定図の公表（7）

・当初63河川を含め、小規模河川を追加した**計194河川**の公表完了見込み

国土強靱化により加速

雨量、水位、土砂災害情報を公表しているサーバーの強化（8・8-2）

- ・福島県河川流域総合情報システムをクラウド化し同時アクセス可能数を**2.4万/hアクセス**に向上
- ・土砂アラートのシステムを河川のシステムから独立させ同時アクセス可能数を**10万/hアクセス**に向上、併せて**8ヵ国語での表示**に対応

土砂アラートの公表（8-2）

・土砂災害の危険度をこれまでの市町村単位（59地区）から大字単位（562地区）に**細分化し公表**

国土強靱化により加速

出水時の下流地域の安全度を向上させるため、事前放流の体制を構築したダム数（9）

事前放流の体制構築によりダム下流の市街地の治水安全度が向上したダム **52ダム**

土砂災害警戒区域等の指定（10）

8,206箇所を指定するとともに、高精度の地図情報を用いて抽出した**新たな土砂災害の発生のおそれのある38,670箇所を公表**

国土強靱化により加速

1 改良復旧事業及び災害復旧事業の推進

令和6年度末までに

災害復旧事業

1,411箇所

災害復旧事業

全1,411箇所完了

改良復旧事業

8河川

改良復旧事業

6河川完了予定

改良復旧事業実施例

①夏井川 (いわき市)

R7年度：河道掘削完了予定
R9年度：全体事業完了予定



②好間川 (いわき市)

R7年度完了予定



改良復旧事業河川位置図

●：災害復旧助成事業 (3河川)

②広瀬川

L=620m

①山舟生川

L=1,885m

⑤小泉川

L=473m

●：災害関連事業 (5河川)

③宇多川

L=5,355m

④安達太田川

L=2,340m

③移川 (1,2,3工区)

L=2,179m

①夏井川

L=14,900m

②好間川

L=6,600m

改良復旧のイメージ



被災

災害復旧

被災箇所のみ



改良復旧

ぜい弱部等を含む
一連区間



1 改良復旧事業及び災害復旧事業の推進

改良復旧事業実施例

③宇多川 (相馬市)

R 6 年度完了



③移川 (二本松市)

R 6 年度完了



①山舟生川 (福島市)

R 6 年度完了予定



④安達太田川 (二本松市)

R 5 年度完了



②広瀬川 (川俣町)

R 6 年度完了



⑤小泉川 (相馬市)

R 3 年度完了



2 河川改修の推進

河川改修の推進



令和6年度末までに

緊急的な改修 **78河川完了予定**

一定区間の改修 **5河川完了予定**

継続事業の整備促進 **引続き整備を推進**

浸水被害が解消される家屋数 **2,813戸**※
※改良復旧事業を含む

緊急的な河川改修の実施例

田付川 (喜多方市) R3年度完了



新川 (いわき市) R3年度完了



2 河川改修の推進

一定区間の河川改修の実施例

谷田川工業団地工区 (郡山市)

R 6 年度完了予定



塩野川 (福島市)

R 6 年度完了予定



継続事業の整備促進の実施例

逢瀬川 (郡山市)

R 8 年度完了予定



只見川湯倉工区 (金山町)

R 10 年度完了予定



3 河川の河道掘削及び伐木の推進

当初予定
河道掘削
515箇所

事業箇所を拡大

事業箇所：人家密集地
▶▶ 人家点在地

令和6年度末までに

河道掘削 **1,077**箇所完了見込み

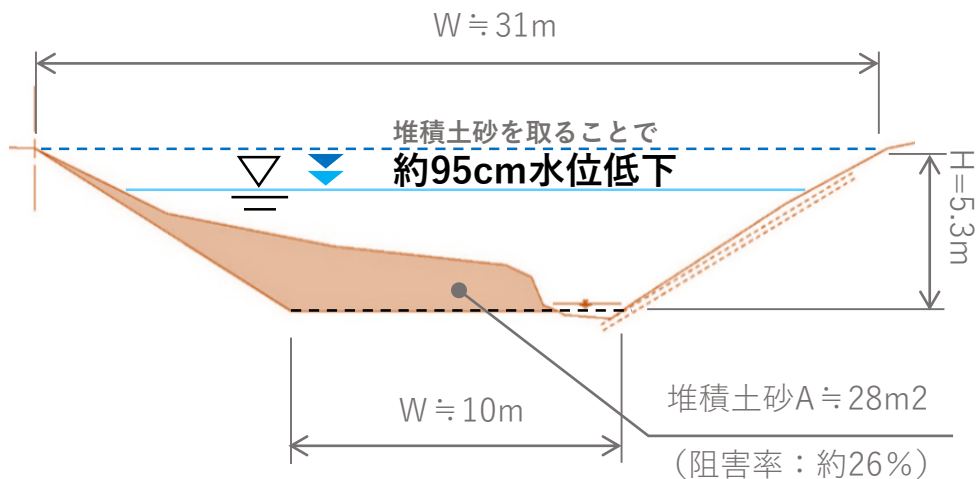
河道掘削の効果

対策 流下能力を阻害している
土砂・樹木を除去

目標 河川を改修した当時の流下能力を確保

効果 水位低下により浸水被害を軽減

藤原川における河道掘削の効果事例



河川の河道掘削及び伐木実施例

五百川 (郡山市)

R 4 年度実施



藤原川 (いわき市)

R 5 年度実施



3 河川の河道掘削及び伐木の推進

河川の河道掘削及び伐木実施例

濁川 (喜多方市)

R 4 年度実施



蛭田川 (いわき市)

R 5 年度実施



大滝根川 (田村市)

R 2 年度実施



館岩川 (南会津町)

R 3 年度実施



飯樋川 (飯館村)

R 3 年度実施



川上川 (塙町)

R 5 年度実施



4 堤防強化の推進

当初予定
堤防強化
531箇所

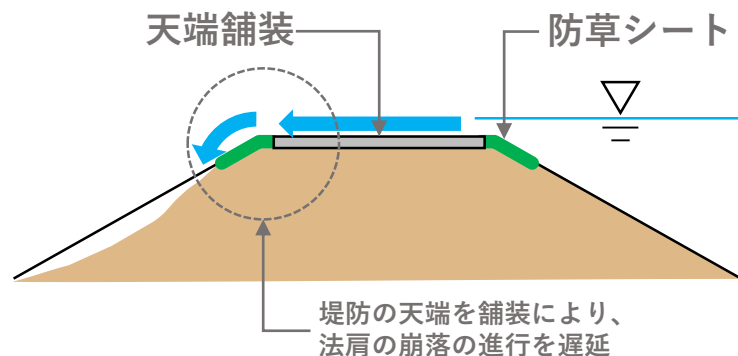
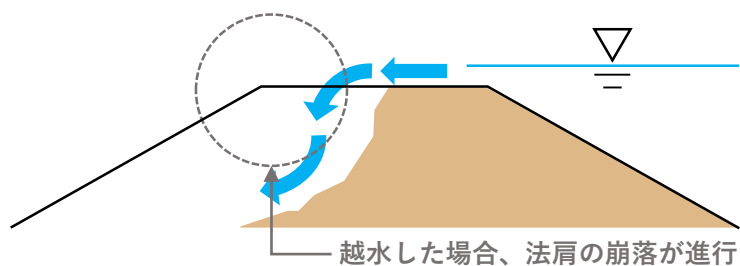
事業箇所を拡大

事業箇所：人家密集地
▶▶ 人家点在地

令和6年度末までに

堤防強化 538箇所完了見込み

堤防強化の効果イメージ



堤防強化の実施例

逢瀬川 (郡山市)

R3年度完了



谷田川 (郡山市)

R5年度完了



4 堤防強化の推進

堤防強化の実施例

阿武隈川 (玉川村)

R 3 年度完了



飛鳥川 (石川町)

R 5 年度完了



桧沢川 (南会津町)

R 6 年度完了



茨原川 (いわき市)

R 6 年度完了



大日川 (南相馬市)

R 5 年度完了



釜戸川 (いわき市)

R 4 年度完了



5 土砂災害対策の推進

土砂災害対策事業

土砂災害対策の推進により
保全される家屋数

当初予定
608戸

令和6年度末までに

保全家屋数

643戸の見込み

災害関連事業

2箇所

災害関連事業

2箇所完了

土砂災害対策事業の推進

172箇所

土砂災害対策事業

172箇所着手済※

※うち**98箇所**完了予定

土砂災害対策実施例

山ノ根1号 (いわき市)

R5年度完了



5 土砂災害対策の推進

土砂災害対策実施例

熱海五丁目沢 (郡山市)

R 4 年度完了

(保全家屋 6 戸)



下名目津 3 号 (二本松市)

R 4 年度完了

(保全家屋 1 戸)



坊が沢 (会津坂下町)

R 5 年度完了

(保全家屋 20 戸)



代畑 (中島村)

R 10 年度完了予定

(保全家屋 5 戸)



宮ノ沢 (南会津町)

R 6 年度完了

(保全家屋 10 戸)



藤沢 (喜多方市)

R 9 年度完了予定

(保全家屋 4 戸)



6 危機管理型水位計の設置拡大

当初予定
危機管理型水位計の設置
324箇所

市町村からの要望を受け
設置箇所を拡大

令和6年度末時点

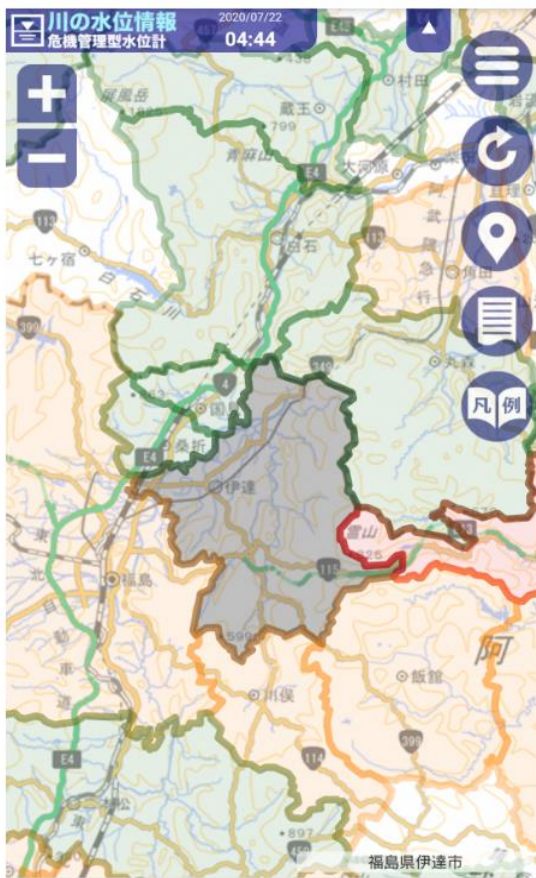
危機管理型水位計設置

536箇所設置完了

河川水位の表示例



都道府県別表示例



市町村別表示例



水位計データ表示例

出典：川の水位情報 < (一財) 河川情報センター >

7 簡易型河川監視カメラの設置拡大

当初予定
37箇所

市町村からの要望を受け
設置箇所を拡大

令和6年度末時点

簡易型河川監視カメラ設置

287箇所設置完了

河川監視カメラの表示例



都道府県別表示例

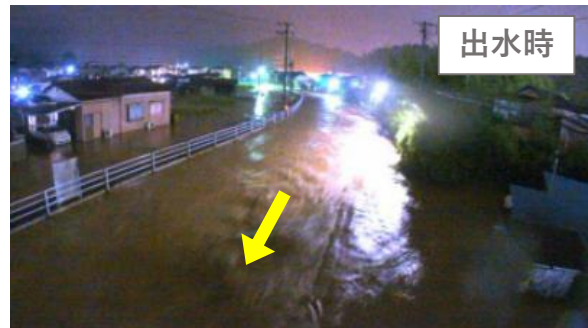
拡大



河川監視カメラ位置表示例



通常時



出水時

河川監視カメラによる映像表示例

出典：川の水位情報＜（一財）河川情報センター＞

※河川監視カメラ・水位の情報は以下QRから



川の防災情報
＜国土交通省＞



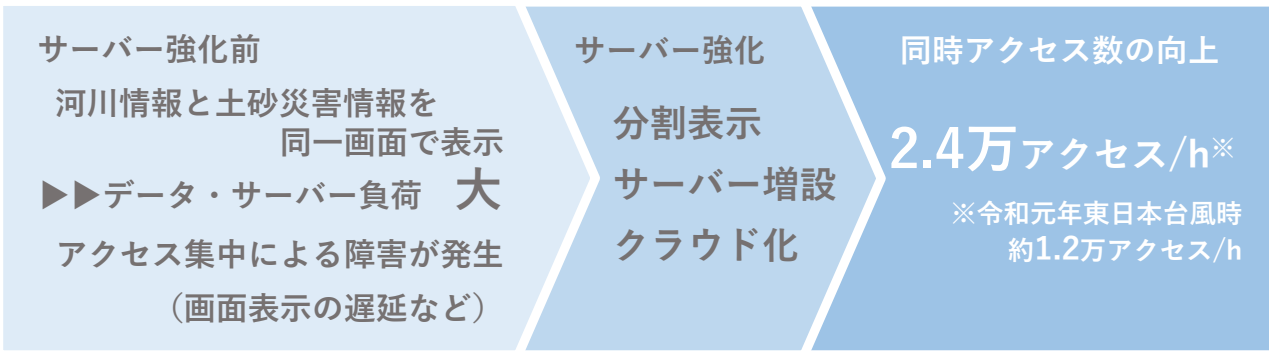
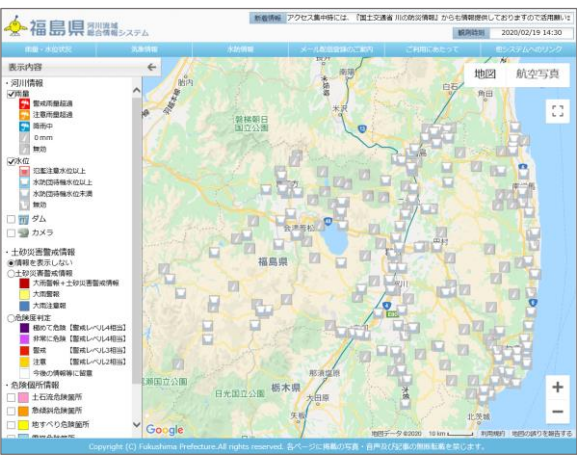
川の水位情報
＜（一財）河川情報センター＞



河川流域総合
情報システム
＜福島県＞

9 福島県河川流域総合情報システムのサーバー強化

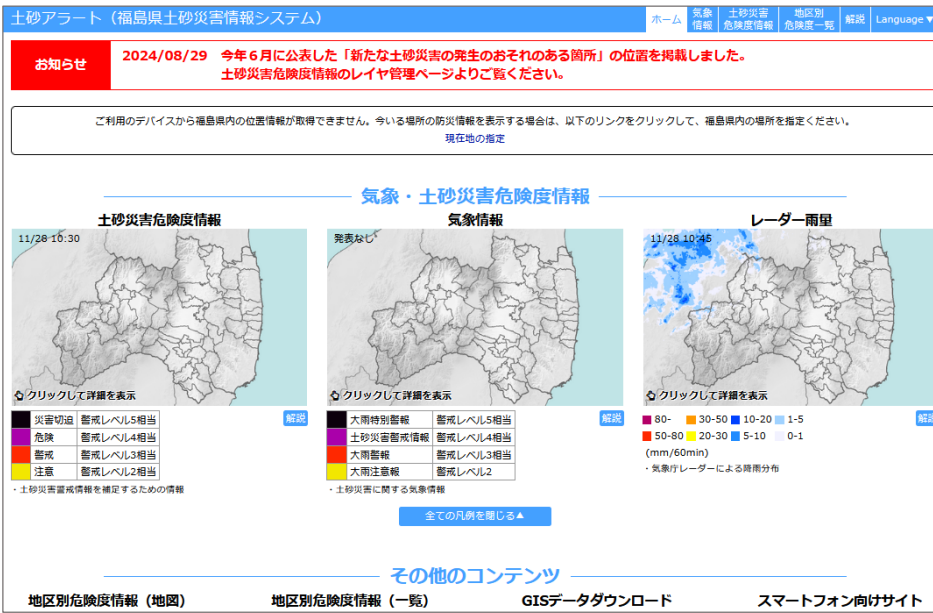
サーバー強化の例



サーバー強化前の
福島県河川流域総合情報システム



福島県河川流域総合情報システム



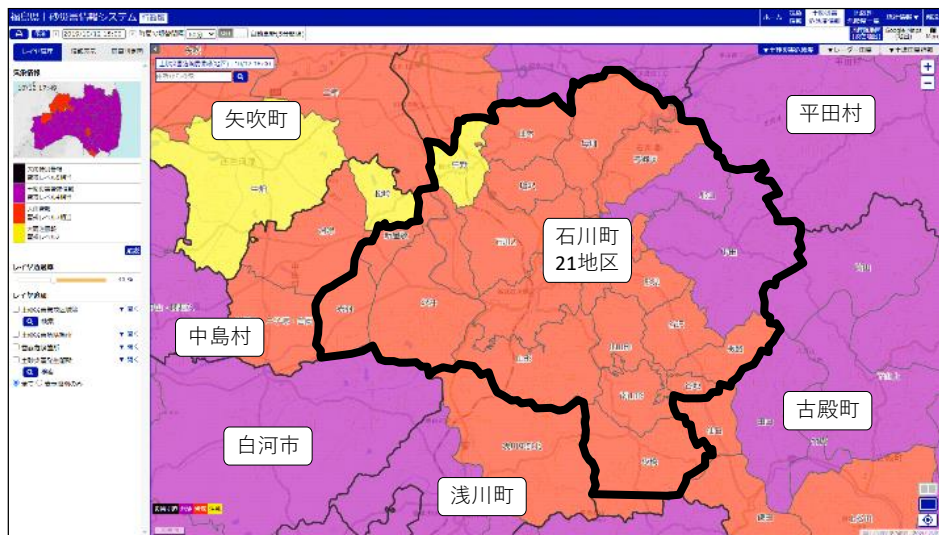
福島県土砂災害情報システム (土砂アラート)

10 福島県土砂災害情報システムの改良

福島県土砂災害情報システムの改良例

土砂災害の危険度の表示

562地区に細分化



従来

土砂災害の危険度表示が市町村（59地区）ごと危険地区が不透明

土砂災害警戒区域等のみの表示
どの区域が危険か不明確

改良

土砂災害の危険度を大字単位等の562地区に細分化（最小は1km²メッシュ）

土砂災害警戒区域等と土砂災害の危険度を重ねて表示
土砂災害リスクを明確化

効果的に避難すべき地区の情報を提供※
住民や市町村の迅速な避難判断を支援

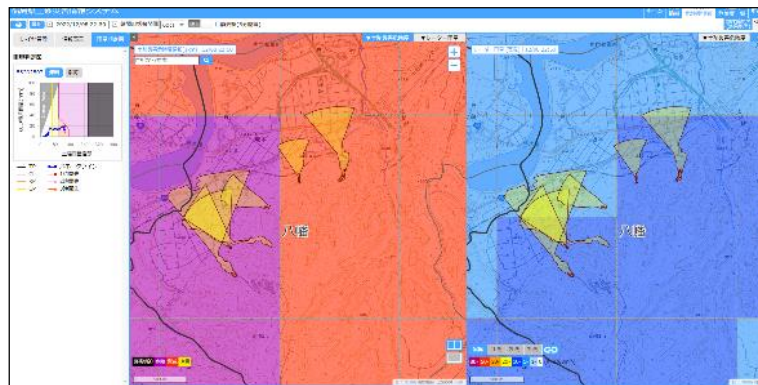
※この他、8カ国の多言語化や同時アクセス数を10万アクセス/hに向上

土砂災害警戒区域等の表示

土砂災害リスクの明確化



従来の土砂災害情報システム
（土砂災害警戒区域のみの表示）



改良後の土砂災害情報システム（土砂アラート）
（土砂災害警戒区域＋土砂災害の危険度を表示）

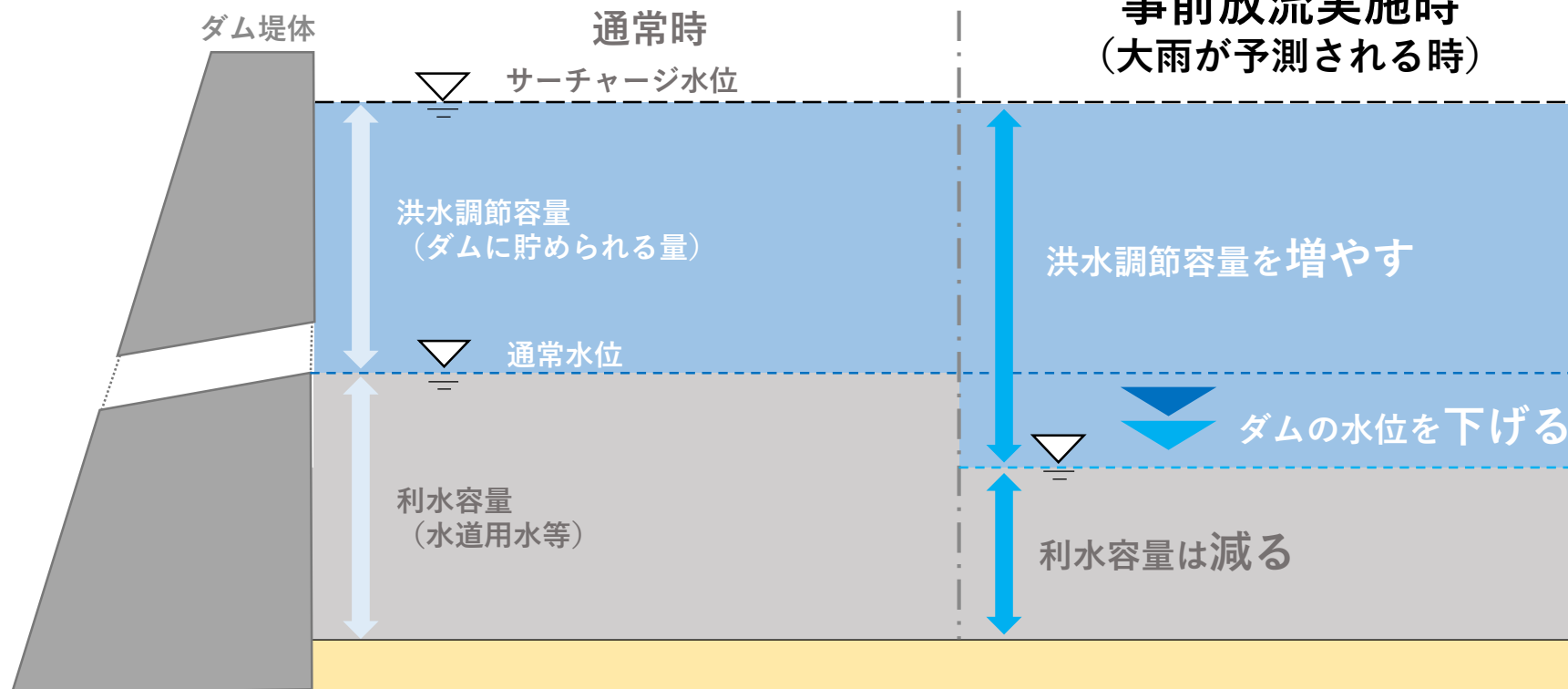
※土砂災害の情報は以下QRから



土砂アラート
＜福島県＞

11 ダムにおける事前放流等に向けた体制の構築

事前放流のイメージ



事前放流に係る治水協定を締結したダム数

52ダム

一級水系 ▶▶▶ 40ダム

土木部管理ダム ▶▶▶ 5ダム

阿武隈川水系：堀川ダム、千五沢ダム

阿賀野川水系：東山ダム、日中ダム、田島ダム

土木部管理以外 ▶▶▶ 35ダム

二級水系 ▶▶▶ 12ダム

土木部管理ダム ▶▶▶ 6ダム

真野川水系：真野ダム

木戸川水系：木戸ダム

夏井川水系：こまちダム、小玉ダム

鮫川水系：高柴ダム、四時ダム

土木部管理以外 ▶▶▶ 6ダム

12 土砂災害警戒区域等の指定の推進

当初予定

令和6年度末時点

土砂災害警戒区域等の指定 **7,983**箇所

土砂災害警戒区域等の指定

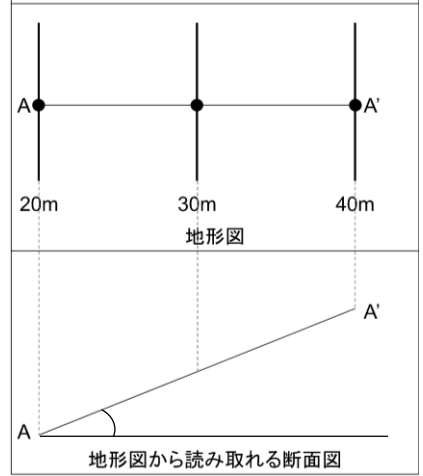
8,230箇所指定予定

高精度の地図情報により抽出精度を向上

従来の地図

10mメッシュ地図により
傾斜 30° 以上となる
斜面を抽出

従来の地形図 (10mメッシュ)



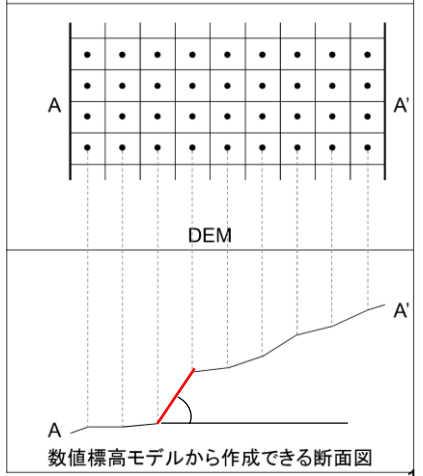
10mメッシュの地形図による抽出例



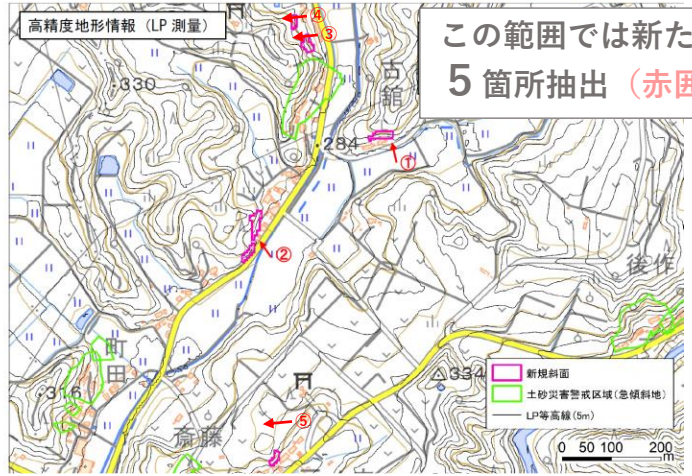
改良の地図

5mメッシュの
高精度の地図を用いて
斜面を再抽出

高精度の地図 (5mメッシュ)



5mメッシュの地形図による抽出例



この範囲では新たに
5箇所抽出 (赤囲箇所)

新たに

38,670箇所

を抽出

13 その他のソフト対策の取組

出前講座

集中豪雨等による洪水や土砂災害の自然災害から自分の命を守るための知識を身につけ、防災意識の向上を図る。講座の開催にあたっては、土木部職員やOBが行っている。

豪雨・洪水災害

河川での安全な遊び方や気象変化に伴う水位上昇等の危険性、洪水の現象や注意する点などを学習。

土砂災害

土砂災害の現象や前触れ、学校や家の周りの危険性がある場所の確認や避難方法、避難場所等を学習。

出前講座の実施状況の様子

海老根小学校（郡山市）



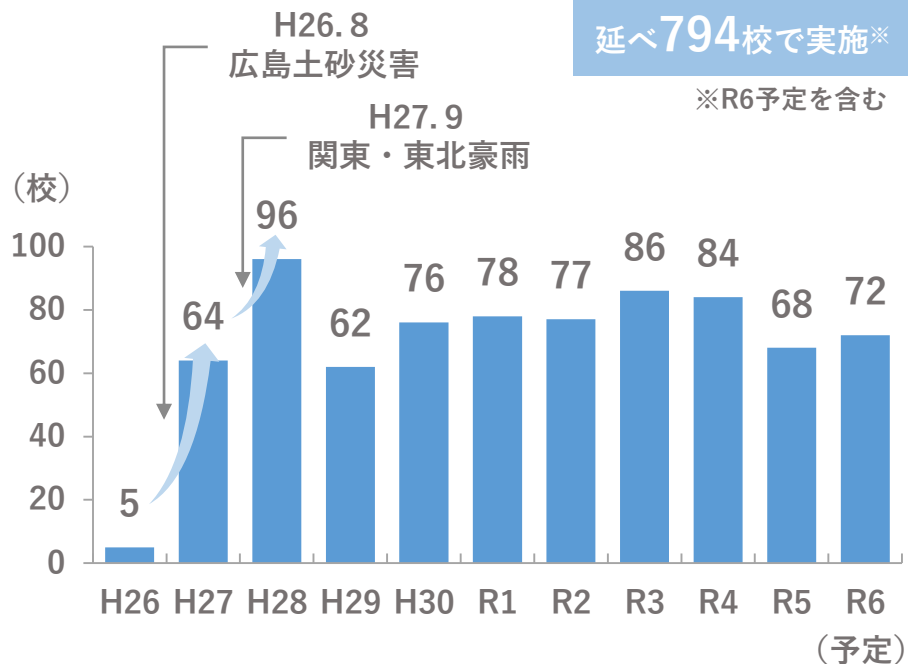
河東学園（会津若松市）



小名浜第一中学校（いわき市）

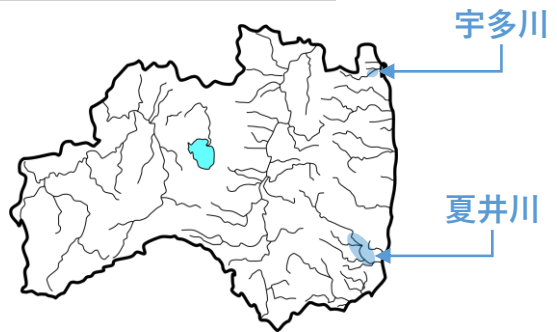


出前講座の実績推移



14 プロジェクトの効果例（改良復旧事業）

夏井川・宇多川位置図



令和元年東日本台風の出水状況



改良復旧事業実施状況

夏井川（いわき市） R 6 年度撮影



2 工区（鎌田水位観測局付近）



宇多川（南相馬市） R 4 年度撮影



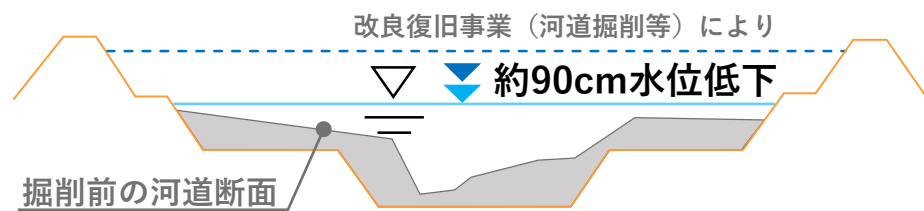
北飯淵地区（百間橋付近）



夏井川における改良復旧事業の効果※

2 工区（鎌田水位観測局付近）

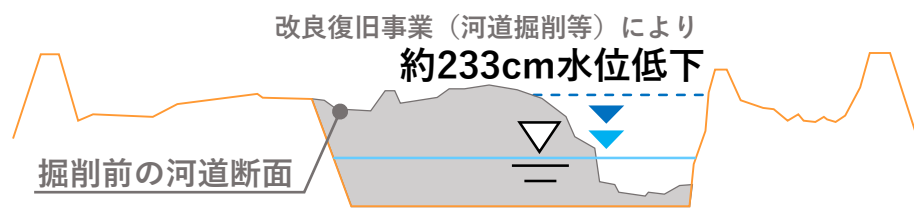
※R5年台風13号の豪雨（大利雨量観測所：267mm/24h）により検証



宇多川における改良復旧事業の効果※

北飯淵地区（百間橋付近）

※R5年台風13号の豪雨（天明雨量観測所：120mm/24h）により検証



引き続き流域治水の考えに基づき防災・減災対策の強化を推進

ハード対策

- 1 河川整備計画に基づく事業展開
- 2 土砂災害対策による重要インフラ施設等の保全を推進
- 3 流木対策工の推進
- 4 大災害時の速やかな復旧及び再度災害防止
- 5 計画的な河道の維持管理

ソフト対策

- 1 洪水浸水想定区域の空白域の解消を推進
- 2 新たに土砂災害が発生するおそれのある箇所の土砂災害警戒区域等の指定を推進
- 3 危険情報のリアルタイムな発信

気候変動・新たな取組策

- 1 気候変動を踏まえた河川整備基本方針等の見直し
- 2 土砂・洪水氾濫対策の推進
- 3 防災まちづくりとの連携による土砂災害対策の推進